特選一席

（選者五十音順
自由題・題詠の順に掲載）

稲畑廣太郎　選

夕星に語りかけたる虫の声　福岡　宮脇　睦子
鉦叩闇に段差の生まれけり　神奈川　原田　博之

井上　康明　選

露草や嬰百日の指ぢから　大阪　浅井　映子
拭き上げて雪の匂ひの生家かな　東京　冬　魚

宇多喜代子　選

木々の影深く沈めて冬の水　東京　川副　康孝
放生会水に抗ふ魚もいて　奈良　佐藤　雅之

小澤　實　選

山風に川風加へ盆の家　群馬　嶋﨑　賢司
死にたいは生きたい秋の夜の電話　神奈川　天野　信敏

櫂　未知子　選

てのひらの渇きに一つ蛇苺　東京　佐藤　茉
拭き上げて雪の匂ひの生家かな　東京　冬　魚

片山由美子　選

会へばすぐ山の話や生ビール　埼玉　小林　通子

鈴木　章和　選

夏服の眩しきままに遠ざかる　兵庫　奥村　芳弘
生も死も学び卒業畜産部　長野　福澤るみ子

髙柳　克弘　選

でっかいぞ東京タワーだこのつらら　滋賀　瀬戸山　椋
蟬生るかくも込み合ふとは知らず　東京　田中　久幸

対馬　康子　選

小夜しぐれ夢の血中濃度かな　愛媛　片山　一行
銀漢や未来は生まぬ砂時計　鹿児島　久永のり尾

● 夏井いつき　選

焼べ入れて鱗の爆ぜる鮭打棒　茨城　奥村　雄治
ダリア、ダリア先生の名字が変わる　東京　嫉妬林檎

● 西村　和子　選

秋蝶の躓きつつも風拾ふ　和歌山　山本　容子
先生も園児の歩幅運動会　群馬　木下　涼薫

● 星野　高士　選

噴煙の真中辺りや春の月　鹿児島　尾辻　敬弘
櫓を漕げば楽の生まるる良夜かな　埼玉　河瀬　俊彦

● 宮坂　静生　選

東京の一隅灯す夜学生　愛知　市原亜希子
銀漢や未来は生まぬ砂時計　鹿児島　久永のり尾

先行作品があることが判明したため、
作者本人よりご辞退いただいた作品がありました

◆特選二席――自由題（選者五十音順）

稲畑廣太郎　選
宙を飛ぶ鰹の見たる空の色　愛媛　伊藤　英夫

井上　康明　選
灼熱の日本列島終戦日　兵庫　髙柳しずか

宇多喜代子　選
折り鶴の胸ふっくらと春隣　東京　西島　明子

小澤　實　選
幼子を高く茅の輪をくぐりけり　福島　三上　昭俊

櫂　未知子　選
ネクタイで守るみぞおち万愚節　神奈川　田中　木江

片山由美子　選
雨音に寝て老鶯に目覚めけり　鹿児島　松下　徳幸

鈴木　章和　選
丁寧にすっぴんとなる良夜かな　北海道　齋藤　明美

髙柳　克弘　選
団栗に降られひとりになれぬ森　東京　うづら

対馬　康子　選
新緑の中に婚姻色のひれ　宮城　坂下　遊馬

夏井いつき　選
硯海のやうな東京湾に月　栃木　龍　太一

西村　和子　選
ドリアンの話や父の敗戦日　神奈川　今井　眞弓

星野　高士　選
十五日過ぎて八月軽くなる　新潟　中澤　安子

宮坂　静生　選
宇宙船めきて月夜の金魚玉　栃木　龍　太一